



2018年3月期

# 決算説明会資料

2018年6月15日  
株式会社ビーイング  
JASDAQ : 4734

From **Being** to **Becoming** !

Copyright(c) Being Co., LTD. All Rights Reserved.

### ■ 主力商品のバージョンアップ効果により、足下は堅調

- 売上高 5,077百万円（前年比 +140百万円 +2.9%）
- 営業利益 319百万円（前期比 +46百万円 +17.1%）

### ■ さらなる成長に向けた計画は遅延

- 中期経営計画を修正
  - 期間を1年延長 最終年度：2020年3月期 → 2021年3月期
  - 目標損益を修正 売上高：70億円 → 60億円  
営業利益：10億円 → 3億円

### ■ 積極投資を継続し、ビジネスのステージを上げることに注力

# 1. 会社概要及び決算概要

## 会社概要

- 会社名 株式会社ビーイング
- 本社 〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目312番地
- 資本金 1,586百万円
- 設立 1984（昭和59）年9月18日
- 上場 1999（平成11）年10月29日
- URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
- 関係会社 株式会社プラスバイプラス（大阪市） URL: <http://www.pluscad.jp/>  
Being (Myanmar) Co.,Ltd.（ミャンマー連邦共和国）  
株式会社ビーイングDC（長崎県） URL: <http://www.beingcorp.co.jp/beingdc/>  
Progressive Labs Ltd.（イスラエル） URL: <https://progressive-labs.com/>

# 3つの事業領域

建設  
関連  
セグメント

[建設業を支援]  
建設ICT  
Solution

[生産性向上支援]  
TOC  
Consulting

設備  
関連  
セグメント

[設備業を支援]  
設備CAD  
Solution

## Gaia10

見積・実行予算システム

## BeingBudget

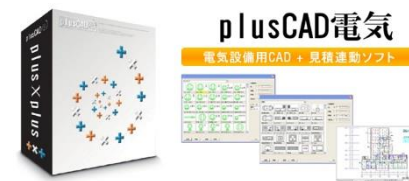
## BeingCollaboration®

## BeingManagement 3

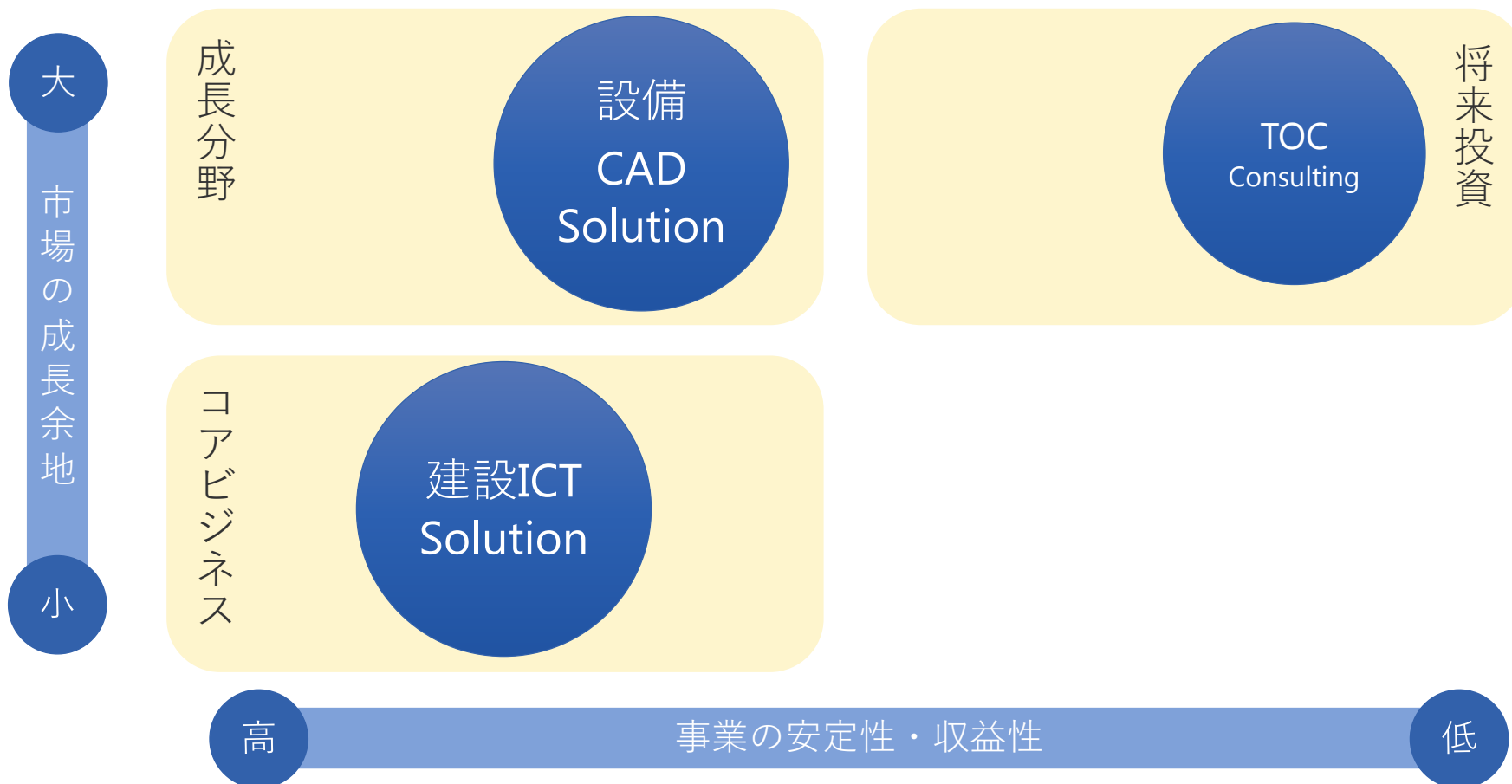
Critical Chain  
Project Management

## ProLaris™

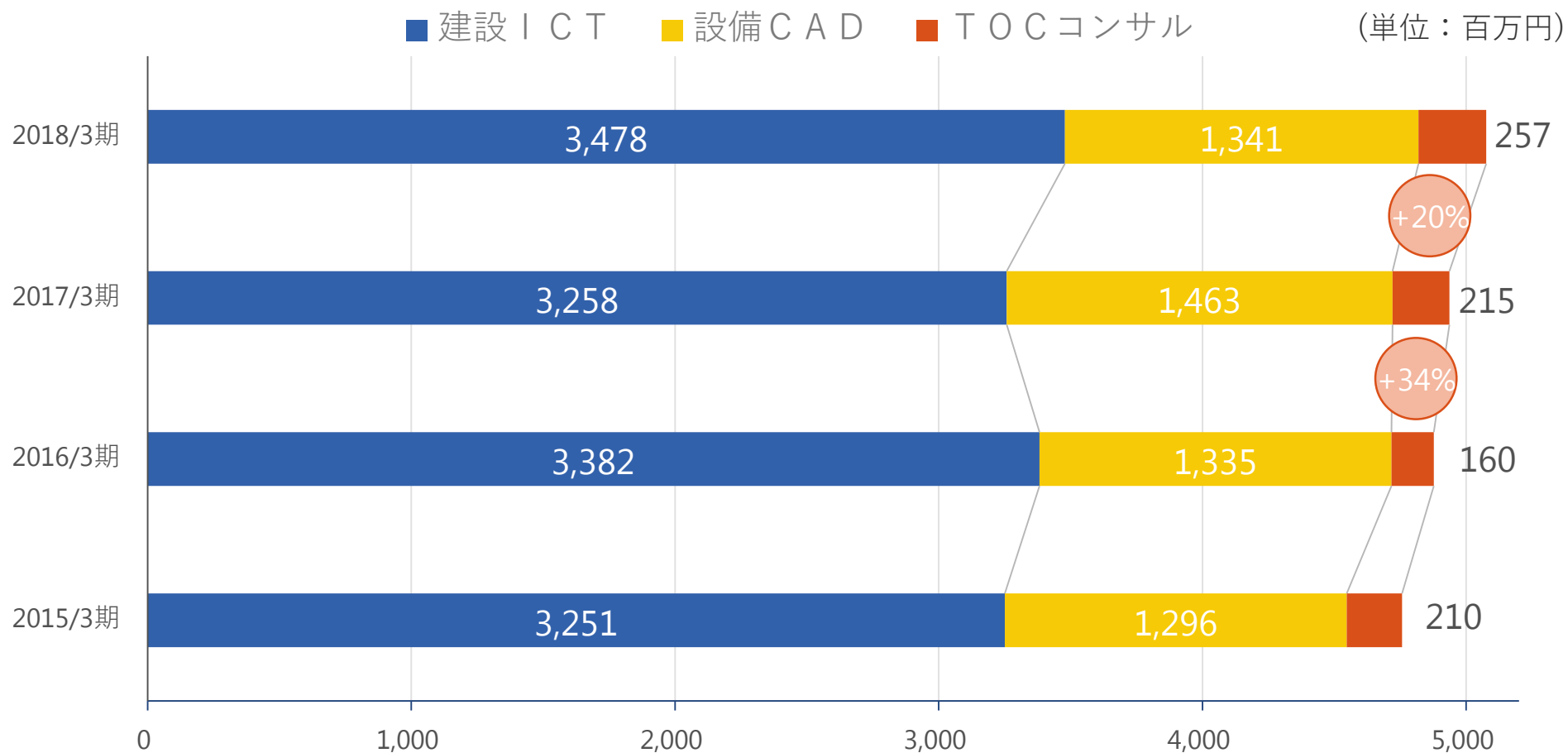
Production and Demand Driven Value Networks



# 事業領域の位置づけ

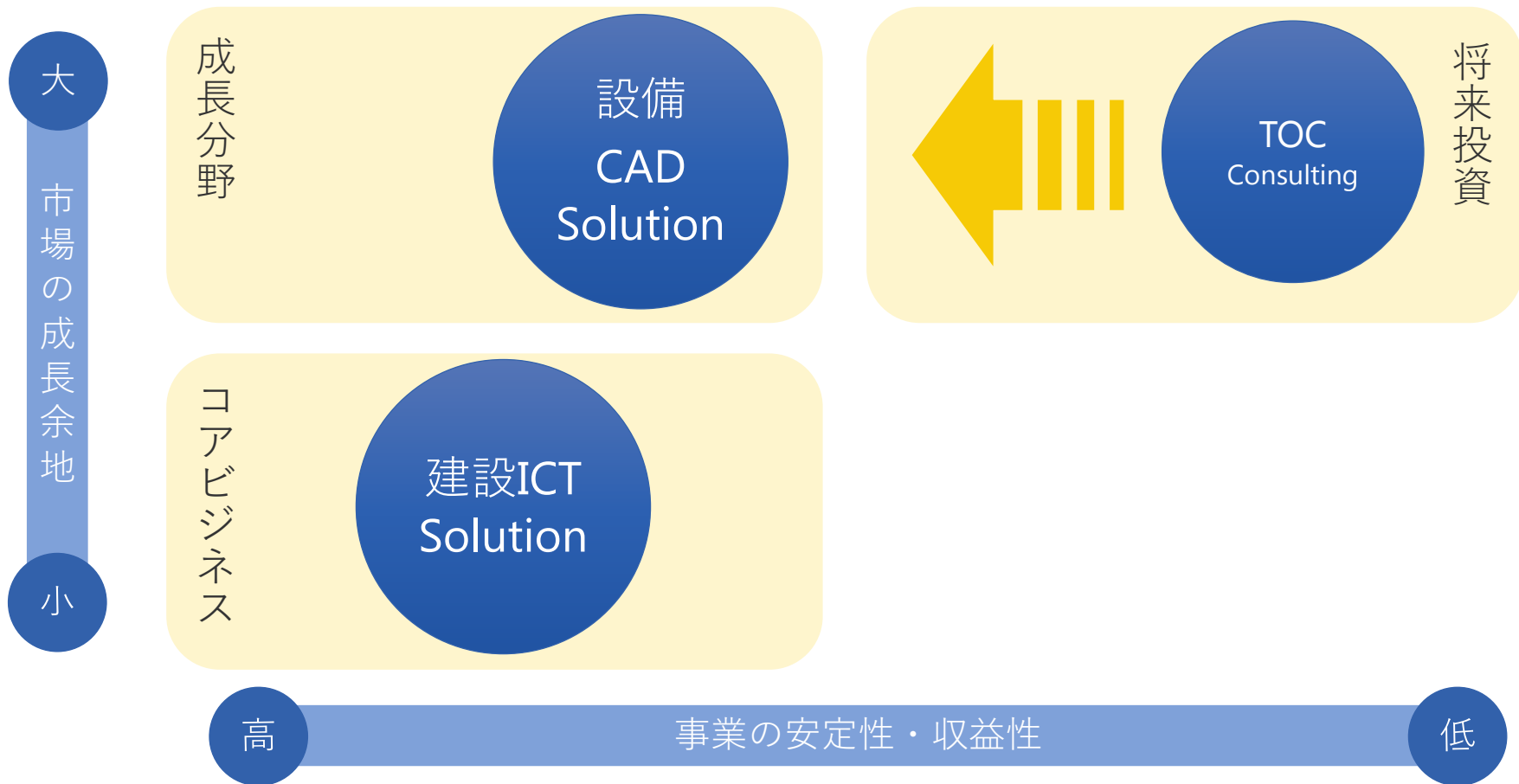


# 事業領域別の売上高



# TOC Consultingの分社化も視野

- TOCコンサルティング事業の収益性が高まり、成長分野に近づく





## 連結業績ハイライト

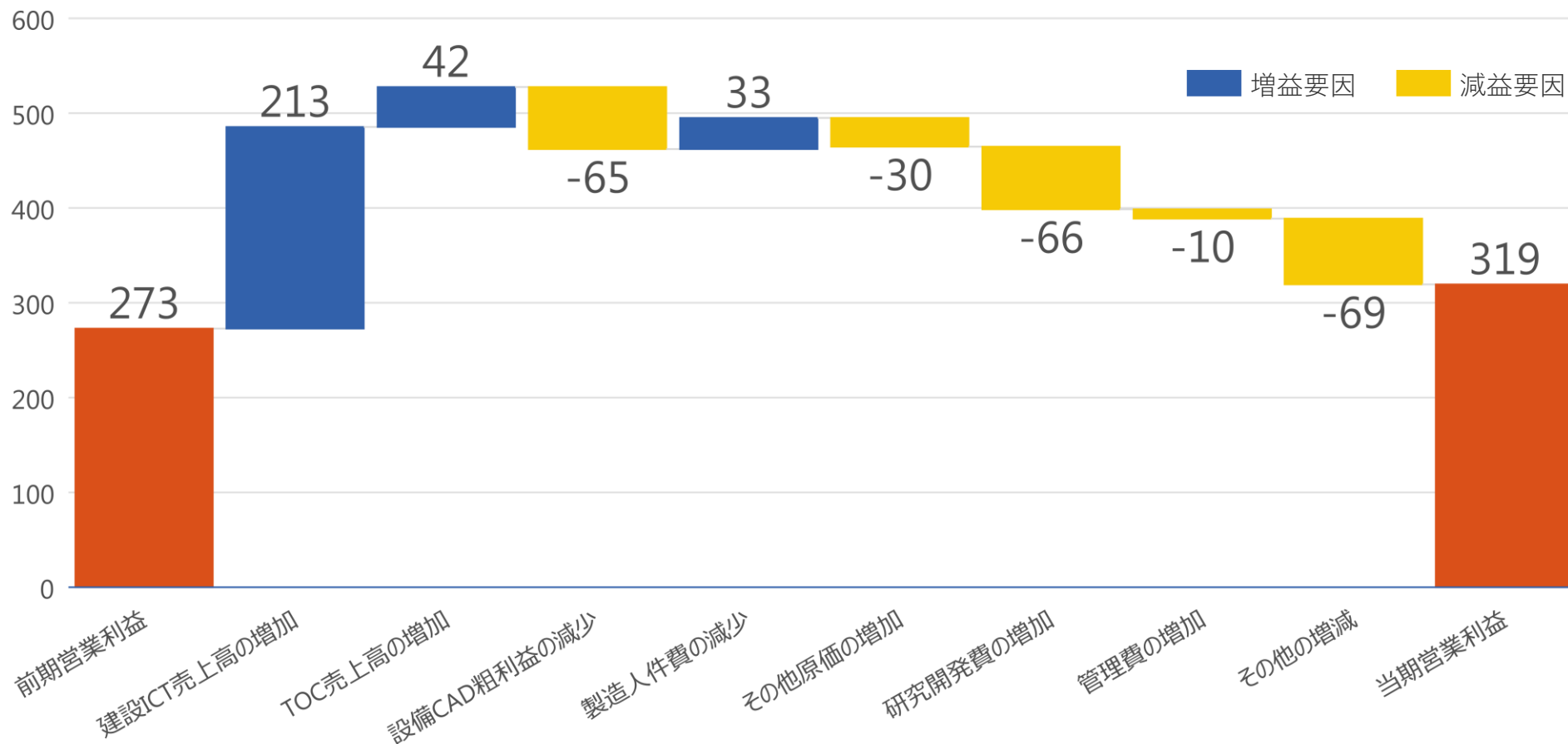
- Gaia10投入により、7期連続増収・3期ぶり営業増益
- 関係会社株式(Progressive Labs)減損により、最終利益では減益

(単位：百万円)

	2018/3期 実績	2017/3期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,077	4,936	140	2.9%
営業利益	319	272	46	17.1%
税金等調整前 当期純利益	232	279	△47	△16.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	102	164	△61	△37.5%
営業利益率	6.3%	5.5%		
一株当り当期純利益	13.07円	20.88円		

# 営業利益の増減要因分析

(単位：百万円)



## セグメントPL

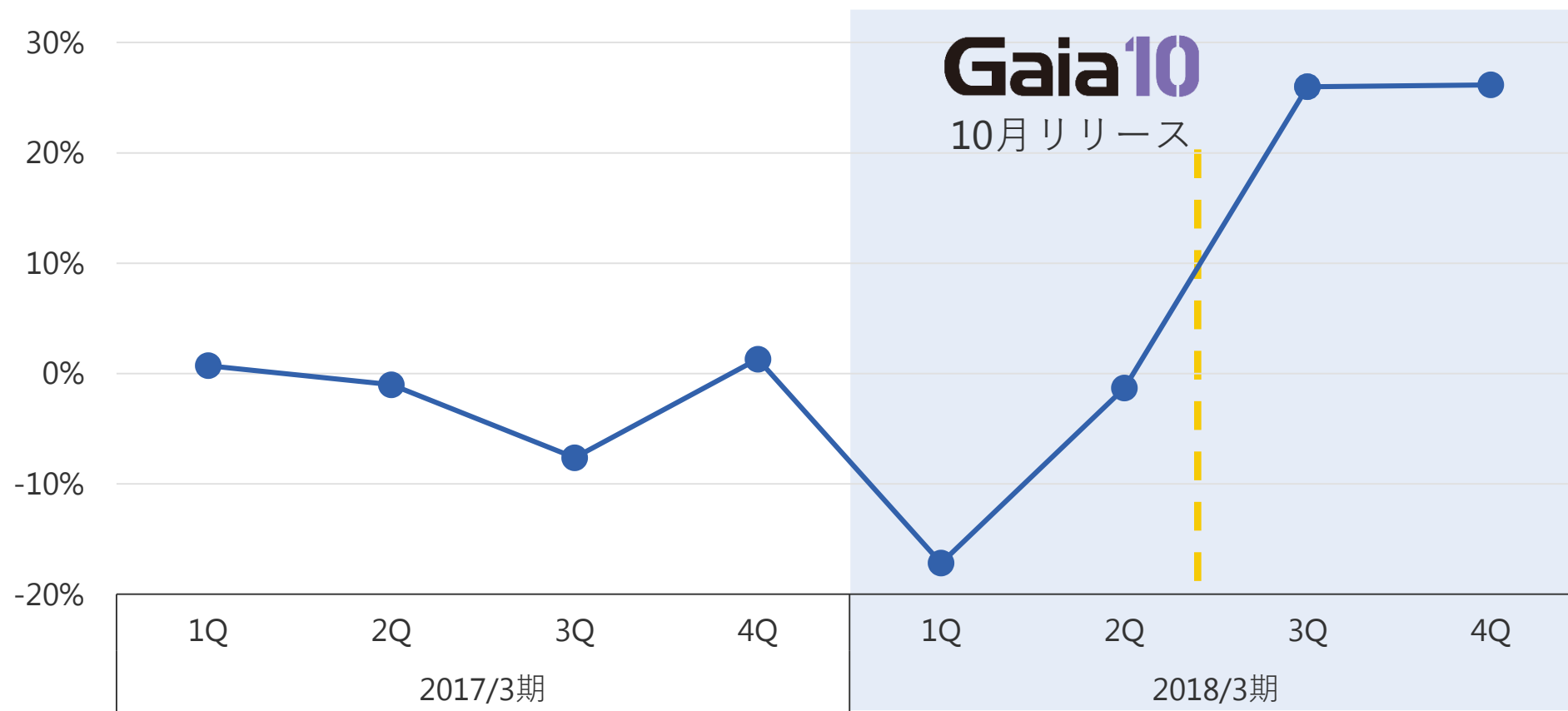
- 建設関連セグメントは、開発コストの増加をこなしつつ大幅増益
- 設備関連セグメントは、下期に減速

(単位：百万円)

		2018/3期 実績	2017/3期 実績	前期比	
				増減額	増減率
建設関連	売上高	3,735	3,473	262	7.6%
	営業利益	297	179	118	65.7%
	営業利益率	8.0%	5.2%		
設備関連	売上高	1,341	1,463	△121	△8.3%
	営業利益	42	113	△71	△62.7%
	営業利益率	3.2%	7.8%		

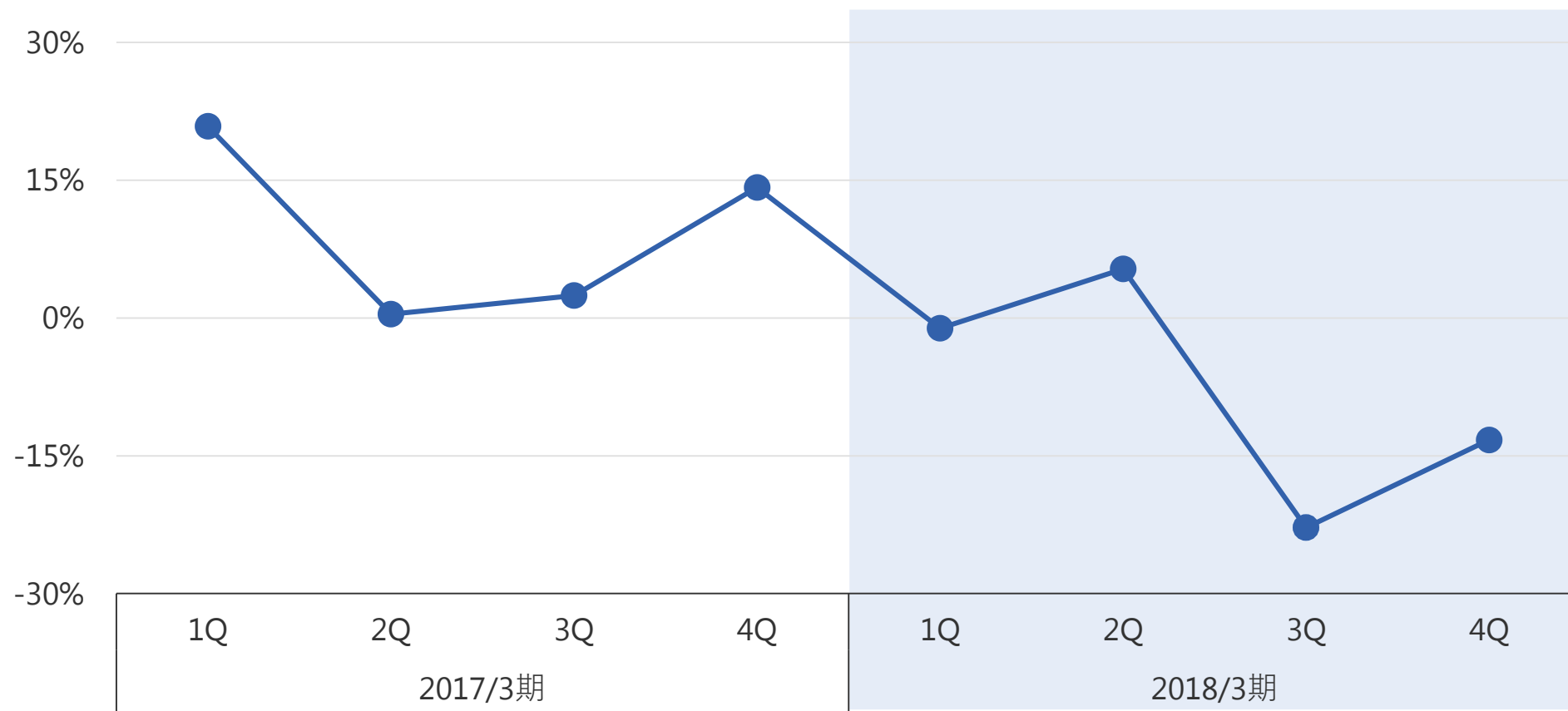
## 建設関連セグメント：四半期売上高の対前期増減率

- トップラインの停滞・減速から、Gaia10投入により反転



## 設備関連セグメント：四半期売上高の対前期増減率

- 下期に大幅な落ち込み



## グループ従業員数について

- 連結範囲内では大きな変動なし
- 非連結のデータ入力子会社で増員

(単位：人)

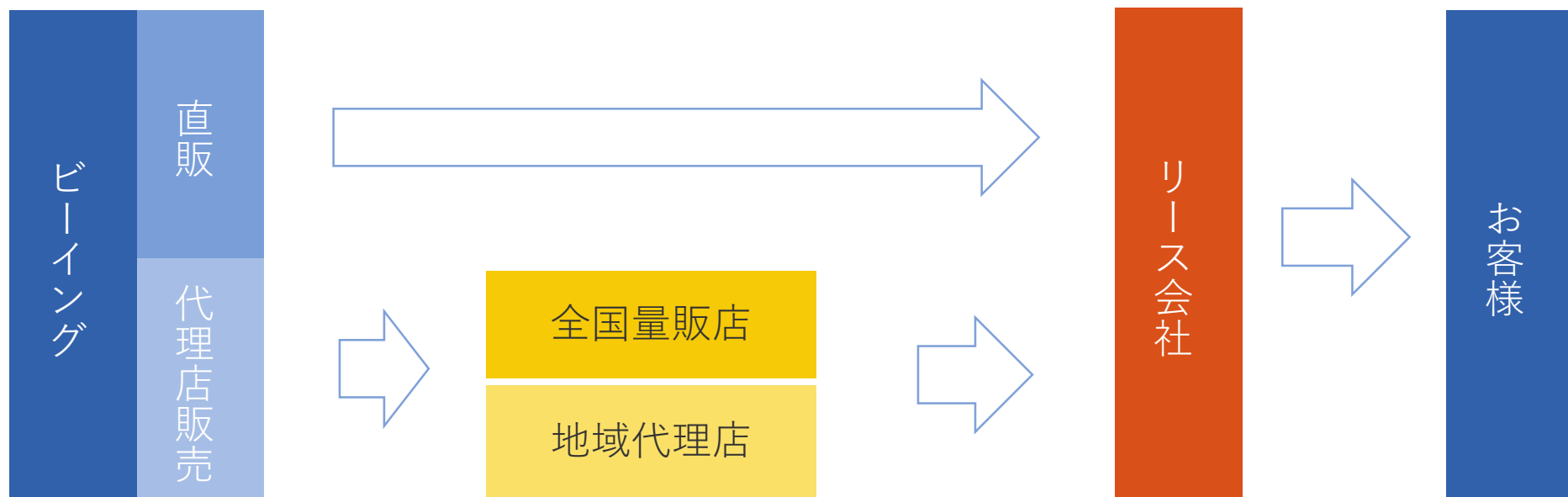
	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	増減
建設ICT Solution	258	261	303	298	△5
（内、Being Myanmar）	（－）	（－）	（30）	（32）	（＋2）
TOC Consulting	17	14	15	15	±0
設備CAD Solution	63	73	77	79	＋2
グループ合計	338	348	395	392	△3
（内、営業・サポート系）	（206）	（219）	（227）	（225）	（△2）
（内、開発系）	（104）	（101）	（140）	（140）	（±0）

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018/3期 実績	2017/3期 実績	前期比増減額	主な増減要因
流動資産	5,513	4,996	516	
固定資産	1,420	1,549	△128	ProgressiveLabsへの出資減損
資産合計	6,933	6,545	388	
流動負債	1,681	1,476	204	前受収益の増加
固定負債	1,977	1,791	186	長期前受収益の増加
負債合計	3,658	3,267	391	
純資産合計	3,275	3,278	△3	
ROE	3.1%	5.0%		
一株当り純資産	418.48円	416.87円		

# 商流について



## 当社ビジネスモデルの強み

- 特定取引先に偏らないバランスのとれた流通網
- リース販売によって、貸し倒れリスクを極小化
- リースアップ時の更新商談が可能
- リース期間中のメンテナンス費用は「前受収益」として計上。健全な財務基盤を構築



# 連結キャッシュフロー計算書

- Gaia10発売によって売上が伸びたことにより、営業CFも増加
- 投資有価証券の満期償還等により、投資CFが増加
- 自社株買いも含めた総株主還元は、前期と同水準

(単位：百万円)

	2018/3期 実績	2017/3期 実績	前期比	
			増減額	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	415	155	259	62.6%
投資活動による キャッシュ・フロー	380	293	87	22.9%
財務活動による キャッシュ・フロー	△111	△117	6	△5.5%

## 2. 中期経営計画及び今期施策

## 中期事業計画のスコープ

建設ICT  
Solution

建設業界のサプライチェーン革新企業へ

設備CAD  
Solution

企画機能を持つ設備業支援企業へ

TOC  
Consulting

TOCコンサルティングNo.1

## 中期経営計画のターゲットを修正

### 修正要因

- 商品開発、投入計画の修正
- 新商品・サービスの立ち上がり速度を見直し

	前中期計画 最終年度	現中期計画 最終年度	(単位：百万円)
	2017/3期	2020/3期	2021/3期
売上高	4,936	7,000	6,000
営業利益	272	1,000	300
営業利益率	5.5%	14.3%	5.0%

# 計画実現のための商品開発のウエイト

商品開発

建設ICT  
Solution

建設業界のサプライチェーン革新企業へ

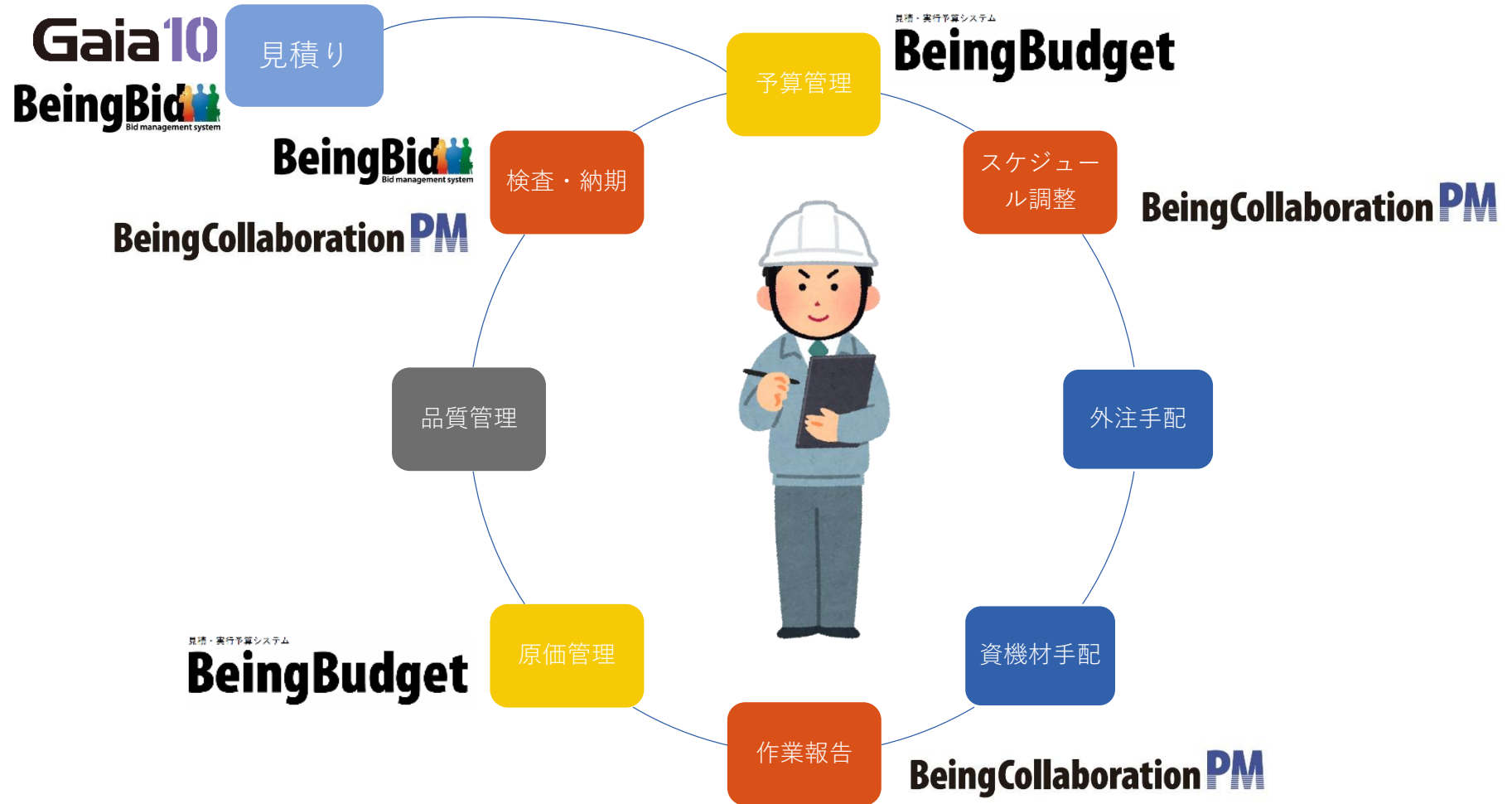
設備CAD  
Solution

企画機能を持つ設備事業支援企業へ

TOC  
Consulting

TOCコンサルティングNo.1

# 現場代理人をICTで支援



## 連結業績予想

- Gaia10投入の効果は、当上期も継続
- 商品開発を加速させるため、さらに積極的に投資を行う

(単位：百万円)

	2019/3期 予想	2018/3期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,400	5,077	322	6.3%
営業利益	380	319	60	19.1%
経常利益	400	326	73	22.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	240	102	137	133.9%
営業利益率	7.0%	6.3%		
一株当り当期純利益	30.67円	13.07円		
年間配当金	15.00円	10.00円		

## 今期の取り組み

### 建設ICT Solution

- Gaia10既存顧客の更新率100%を目指す
- インフラ系企業の積算ニーズ開拓
- BeingBudgetの拡販

### 設備CAD Solution

- 新商品投入による新規販売の回復
- 新機能搭載によるバージョン・アップ推進

### TOC Consulting

- 成功事例発表によるプロモーションの強化



# 配当に対する考え方



- 企業が獲得した利益は、株主、企業、国等で3分割することを基本と考えています。
- 現在の配当方針は、将来の事業展開を勘案しつつ、税金等調整前当期純利益の20%~30%を目安として配当を行う方針であります。

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (予想)
税金等調整前 当期純利益 (千円)	585,951	525,610	279,995	232,597	400,000
1株当たり配当金	15.0円	15.0円	12.0円	10.0円	15.0円
配当総額 (千円)	117,960	117,960	94,368	78,264	117,396
税金等調整前当期純利益 からの配当率	20.1%	22.4%	33.7%	33.6%	29.3%

本日は、ありがとうございました。

Information Systems for Human being.



— 本資料に関するお問合せ先 —

株式会社ビーイング IR担当

TEL : 059-227-2932

FAX : 059-227-2907

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日も説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

From **Being** to **Becoming** !

Copyright(c) Being Co., LTD. All Rights Reserved.